

# ブルーフロンEGトップ4F ブルーフロンEGトップ4F遮熱



【第2版】

## ウレタン塗膜防水の新時代を創造する超高耐候性トップコート

「ブルーフロンEGトップ4F」は4フッ化構造をもった環境配慮型のウレタン塗膜防水専用トップコートです。

従来のフッ素樹脂系トップコートを凌駕する超高耐候性と超高耐久性を兼ね備え、

防水層を強力に保護しメンテナンス周期を延長します。

また、高日射反射率を誇る「ブルーフロンEGトップ4F遮熱」は、

防水層と躯体の温冷繰り返しによる劣化を強力に抑制し、長寿命化を支えます。

### 塗料用4フッ化フッ素樹脂

従来の3フッ化フッ素は、アクリルやウレタン樹脂などと比べ耐候性や耐久性に優れていますが、紫外線に弱い塩素結合が含まれています。その塩素原子を取り除いた4フッ化フッ素は、より強固な材料とされています。

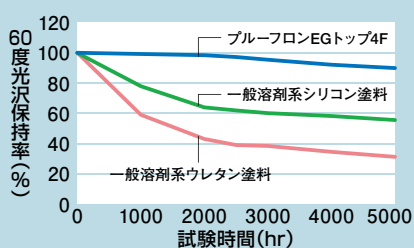
特にウレタン塗膜防水材が多く使用される屋上は紫外線や日射熱に曝されやすく、4フッ化フッ素樹脂塗料は、このような過酷な部位に適しています。

### 究極のトップコートへ

4フッ化フッ素樹脂の「ブルーフロンEGトップ4F」は、超高耐候性と超高耐久性を有しながら、トルエン、キシレンを含まない環境配慮型トップコートです。「ブルーフロンEGトップ4F遮熱」は、最新の遮熱技術を取り入れることで、防水層と躯体の温度上昇を大幅に下げることになりました。

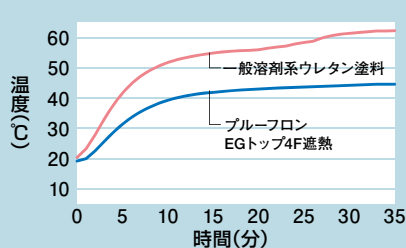
#### ●促進耐候性試験結果

(キセノンウェザーメーター 60° 光沢保持率)

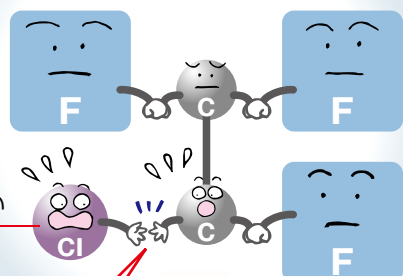


#### ●遮熱性能試験結果

(色相: ライトグレー)



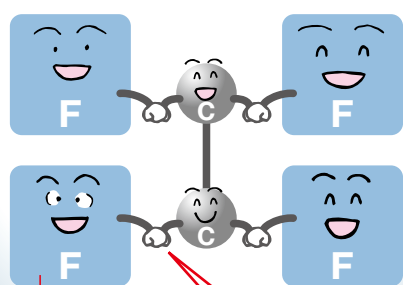
#### 従来のフッ素塗料 (3フッ化フッ素)



紫外線に弱い結合エネルギー

F=フッ素原子  
C=炭素原子  
Cl=塩素原子

#### ブルーフロンEGトップ4F (4フッ化フッ素)



フッ素の含有率が高く、紫外線に強い。

紫外線に強い結合エネルギー

### 標準色

●標準色は印刷のため、実際の色とは相違があります。ご了承ください。

#### ●ブルーフロンEGトップ4F



▲グレー



▲グリーン

#### ●ブルーフロンEGトップ4F遮熱



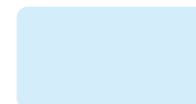
▲ライトグレー



▲ホワイト



▲ライトグリーン



▲ライトブルー

# 標準施工仕様

工程	材料の割合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/㎡)	施工間隔 (23℃)
適応防水材	●指定のウレタンゴム系塗膜防水材(適応下地を参照)を施工してください。				
トップコート	●ブルーフロンEGトップ4F/4F遮熱 A液……………10kg ● // // 遮熱 B液 ……………5kg ●専用硬化促進剤……………0~0.12kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	4時間以内	0.20	歩行可能:24時間以上 養生期間:48時間以上

※ブルーフロンEGトップ4F/4F遮熱を2回塗りする場合の施工間隔は3~72時間(23℃)となります。

※ブルーフロンEGトップ4F専用硬化促進剤添加量(塗料15kg)に対する添加量の目安(kg)

温度範囲	5℃~10℃	10℃~25℃	25℃以上
硬化促進剤添加量	0.12	0.08	0

## 適応下地

- ブルーフロンバリュー
- ブルーフロンエコONE II
- ブルーフロンバリューNS
- ブルーフロンエコONE NS II
- ブルーフロンエコ
- NTスプレー タイプH
- ブルーフロンエコNS
- NTスプレー タイプS
- ブルーフロンエコMID

※ブルーフロンエコDX、エコDX NS、ブルーフロンエコHG、エコHG NSには適応できません。  
※トップコートの塗り替えの際は、既存防水材の種類に応じたプライマーを塗布した後、1層目にブルーフロンGRトップを塗布し、2層目にブルーフロンEGトップ4Fを塗布してください(遮熱タイプも同様です)。

## 荷姿

- ブルーフロンEGトップ4F ……………15kgセット(A液:10kg B液:5kg)
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱 ……15kgセット(A液:10kg B液:5kg)  
※既調合タイプのため、無希釈で使用してください。 ※弱溶剤タイプの塗料ではございません。
- ブルーフロンEGトップ4F専用硬化促進剤 ……………1kg  
※硬化促進剤は、ブルーフロンEGトップ4F、ブルーフロンEGトップ4F遮熱と共用です。

### ■施工上の注意事項

- 降雨、降雪、強風、結露が予想される場合や気温が5℃以下、40℃以上、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 塗装後、未乾燥状態で水分の影響を受けると艶引け、造膜不良、白化、付着不良、変色などの不具合が発生し、美観性だけでなく、十分な塗膜性能が発揮されませんので、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。
- 施工間隔(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより変わります。
- 気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔を長くする必要があります。
- 25℃以下の場合、専用硬化促進剤を添加してください。
- ブルーフロンEGトップ4F/4F遮熱は、既調合タイプとなりますので、シンナー希釈などは行なわないでください。
- 水、アルコール系の溶剤の混入は避けてください。
- 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより幅を生じることがあります。
- 規定の使用量が塗装されていないと、十分な塗膜性能が発揮されない場合がありますので仕様書の使用量を守って塗装してください。
- A液、B液は規定通り計量し十分に混合してください。硬化不良、硬度の発現不良やべたつき残りの原因となります。ご注意ください。もし、硬化不良が発生してしまった場合は塗膜を除去して、再施工する必要があります。
- 塗料を小分けして使用する場合はA液を十分に攪拌して均一の状態にしてから分けてください。色ムラの原因となります。
- 電動攪拌機などで十分に攪拌して使用してください。
- 遮熱塗料では、特殊顔料を使用していますので、経年劣化による褪色の傾向が一般塗料と異なる場合があります。
- 貯蔵の際は密閉し、冷暗所に保存してください。また開封後はできるだけ早めにご使用ください。
- ご使用にあたっては、ブルーフロン総合カタログの注意事項もご参照ください。

### ■取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は、ABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い作業中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗い、うがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないよう、塗装周辺には十分に配慮してください。
- 保管は必ずフタをし、降雨や夜露、直射日光の当たらない冷暗所に保管してください。特に硬化剤、B液は湿気で硬化しますので密栓して保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 本製品をお取り扱いの場合は、消防法や労働安全衛生法などの法令を遵守してご使用、保管を行なってください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

## 日本特殊塗料株式会社

■代理店

### ■お問い合わせ先

- |                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2      | ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10     | ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12      | ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12     | ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560 |
| 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726  | ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

PFEGT4F-1121OD-S#2 [2021年11月作成]